



一般会計税収（2017年8月末時点）

発表日：2017年10月3日（火）

～15年度をやや上回る推移～

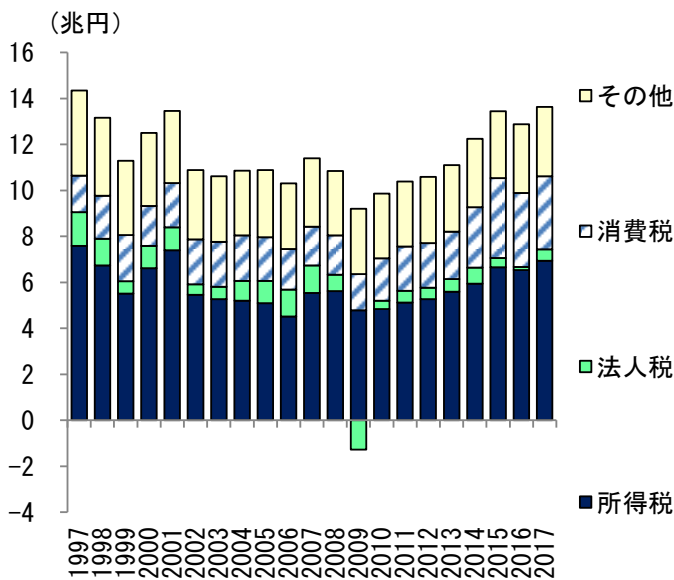
第一生命経済研究所 経済調査部
担当 副主任エコノミスト 星野 卓也
TEL:03-5221-4547

財務省の公表した税収実績によれば、2017年8月末時点の税収累計額は13.6兆円（前年比+5.8%）となった。これは2016年度（12.9兆円）、2015年度（13.4兆円）の水準を上回る値だ。当社の季節調整値でも、着実な増加トレンドを維持している。

内訳をみると、7月に引き続き所得税が好調で、8月末時点累計値は6.9兆円（前年比+6.2%）である。雇用の増加が続いていることなどが、所得税の下支えに効いている可能性が高いだろう。法人税は8月末段階では0.5兆円（前年比+270.3%）と増加しているが、この時点での計上額は僅かであり趨勢はまだ見定め難い。ただ、17年度の企業業績は製造業を中心に増加が予想され、法人税も16年度から増加する公算が大きいとみている。消費税は3.2兆円（前年比▲1.1%）と若干の減少だが、ほぼ前年並みとなっている。

2017年度税収の最終的な着地点は、16年度（55.5兆円）からは増加の見込みだが、17年度予算額（57.7兆円）に達するかは微妙な情勢だ。ここからの税収上振れの余地は小さいと考えられ、年内編成が報じられている今年度の補正予算に関しても、充当できる財源は限られよう。

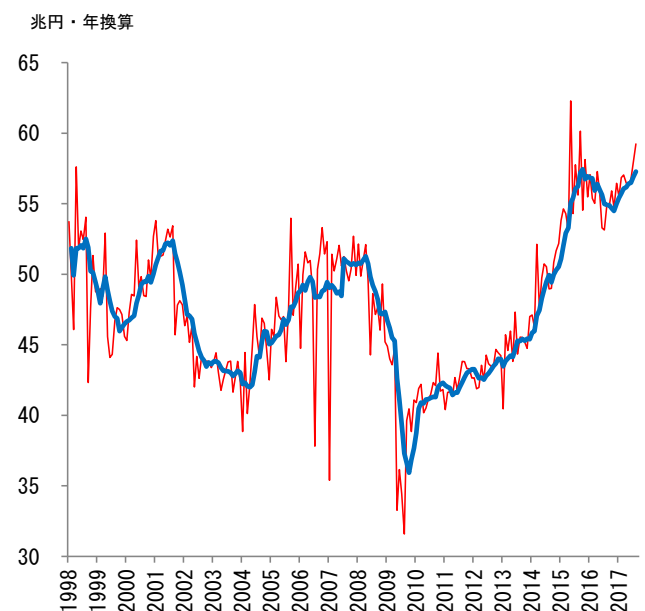
資料. 税収（8月末時点累計値）



（資料1 出所）財務省「租税及び印紙収入、収入額調」

（資料2 出所）同上。季節調整値は第一生命経済研究所。太線は6ヶ月移動平均。

資料. 税収（季節調整値）の推移



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。